

## 溶接構造の疲労性能設計手法国際研究拠点(FDWS)主催 第3回講演会

堤 成一郎

接合評価研究部門 接合設計学分野 准教授

溶接構造の疲労性能設計手法国際研究拠点 (FDWS) の第3回講演会『溶接構造の疲労性能に対する腐食環境の影響』が2019年2月25日に本研究所大会議室で開催されました。本講演会では、腐食環境下における材料や溶接構造物の維持管理技術、強度評価技術および設計法に関する研究成果に関して、九州大学大学院の貝沼重信准教授、大阪大学大学院の箕島弘二教授および日本海事協会船体開発部の山本規雄様による3件の特別基調講演、JFE スチール株式

会社スチール研究所の松田広志様による基調講演、本研究所の堤成一郎准教授による講演がそれぞれ下の題目で行われました。特に本講演会は、各講演時間を長く設定し、午前10時から17時半までと長時間の開催でしたが、96名の研究者・技術者の方にご参加いただきました。また、参加者の半数以上が産業界からであり、産学連携に向けて活発な意見交換が行われ、盛会裡に終了致しました。

### 題目

九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 貝沼重信 准教授  
(特別基調講演) 鋼道路橋の腐食損傷、その原因と対策技術

大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 箕島弘二 教授  
(特別基調講演) 疲労強度特性に及ぼす環境効果

日本海事協会 船体開発部 山本規雄 様  
(特別基調講演) 船体構造の疲労および腐食損傷と疲労強度評価への反映

JFE スチール株式会社 スチール研究所 松田広志 様  
(基調講演) 自動車部材溶接部の耐食性と疲労強度向上技術

大阪大学 接合科学研究所 堤 成一郎 准教授  
溶接構造の疲労性能設計と寿命延伸技術に資する非線形 CAE 技術開発